

大館の歴史散歩

峠・坂
里の道 ⑪

羽州街道・下(釈迦内〜矢立峠)

北條時頼の釈迦内奉納縁起をもつ釈迦堂は、現在は実相寺境内にあるが、前号の絵図面で見ると現在の釈迦内神明社の地であったようである。この釈迦堂前を通過して街道は、今も宿駅の面影を残す釈



▲今も街道の面影を残す白沢村中の旧道

迦内本郷を北上して二ッ森に至る。この間の街道は、水田面より高い畑地を通過しているが、「此所道下欠込街道悪敷」と書留帳にあり、道は悪かつたらしい。

二ッ森からは南流する下内川に並行し、萩長森西麓の河岸段丘縁を、西に長面袋、東に芝谷地・長者森を見ながら橋桁に入る。この間は「芝谷地より出水有」と書留帳にみえる。橋桁を北上した街道は、筑紫森付近で下内川を綱木につかまりながら渡り、水田地帯を通過して白沢に入った。

白沢の村中を北上した街道は、神明社が鎮座する丘の下を東に折れ、再び下内川を渡って現国道と同じ道筋を寺の沢に向かう。寺の沢には「番屋台」という地名があり、ここに街道の「番小屋」が設け

られていたのではなからうか。寺の沢に入った街道は、村の北はずれて再び現国道と同じ道をたどり、西側に男神山・女神山を見ながら下内川と松原高原の間を長走入る。

この区間は、松原高原西斜面が急峻で、しかもすぐ脇を下内川が南流していることから街道の整備が悪く、書留帳にはこの箇所が急峻な山が描かれ、「松原向山下、小川之内三ヶ所坂橋破成申筈」と記されている。

寛文八年(一六六八)に関所が建てられた長走は、寛文十二年(一六七二)には白沢村支郷から独立し、秋田藩最北の村である陣場台を支郷に加えた。

下内川左岸の狭い平地を北進した街道は、険阻な山道が続く難所中の難所を矢立峠に向う。

峠の境は「北行日記」にあるように杉の木であり、これは「矢立杉」と呼ばれていた。また、書留帳には「此所へ御茶屋掛申候所御茶屋峠」とも記されている。

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

『代議士の妻たち』

家田 莊子 (文芸春秋)

国会の華やかな舞台で活躍する代議士たちの陰で、夫以上にハードに選挙を闘う代議士夫人10人を追うルポ。激しい選挙選の裏側の姿を通し、政治家たちの素顔まで見えてくる。



一般書

- ◇すこぶる愉快な絶望 (鮎川信夫)
- ◇花闇 (皆川博子) ◇女の本がいっぱい (尼川洋子) ◇高丘親王航海記 (洪澤龍彦) ◇捕鯨船団女ドクター南氷洋に行く (田村京子) ◇ひとり暮らしの老いじたく (十返千鶴子) ◇西域伝 (伴野朗) ◇映画につれて (小林信彦) ほか

児童書

- ◇やったあ! 3年2組全員合格 (沢田徳子) ◇もりのおぼけのオイリア (アンガー) ◇おじいさんのハーモニカ (グリフィス) ◇クイズ動物の手と足 (福音館) ほか
- 2月のテーマ関連図書コーナーは『冬の事故』です。
- 親子読み聞かせ会は毎週金曜日、午後2時30分から
- 中央図書館の休館日は2月11、21、25日です。

消費者の窓

クレジットカードの使いすぎにご注意!!



クレジットのチエツクポイント

- 利用は計画的に! 一般にクレジットの月々の支払い上限は収入の「二〜五割」。自分の返済能力を考え、しっかりした資金計画を立てておくことが大切。
- 契約書はしっかり読みましょう! 契約した書類は大切に保管。
- 支払い期日は守りましょう! 支払いが遅れると、遅延利息をとられるばかりでなく、信用問題にもなりかねません。十分注意を。
- 名義の貸し借りはやめましょう! 貸し借りはトラブルのもと。事故の際の支払いは、名義を貸した本人。

困ったときのご相談は

市役所市民生活課へどうぞ

☎49-3111 (内線214)

最近では「カードの時代」と言われています。キャッシュカード、テレホンカード……。中でもクレジットカードは「現金がなくても買い物ができる」「お金も貸してくれる」という便利さも手伝って、若者たちの間で広く利用されています。しかし、借り過ぎや使い過ぎは後の支払いが大変。品物を手にするときはうれしけれど、請求書が届いた時は顔面蒼白。カードを貸したら支払うだけで自分に回ってきた、というようなケースもあります。カードを使って買い物をする場合は返済の額を考え、自分の収入に見合った利用を心がけることが大切です。

クレジット

使って極楽 払って地獄。くれぐれもこんなことのないように。

◇堀内孝雄コンサートのチケットは、おかげさまで売り切れとなりました。